

地域社会との緊密な連携を築く

小中・地域連携による組織的なPTA活動

一宮市立大和中学校PTA

1 はじめに

(1) 大和町連区について

大和町連区は、人口約38万人の一宮市において最も人口が多く、4万2千人余りが在住している。連区の児童生徒は、5小学校、3中学校に通っている。

(2) 本校について

本校は、一宮市の南部に位置し、名鉄名古屋本線や尾西線の駅が三つあり、交通の便がよく、賃貸住宅がたくさん建ち並んでいる。東には旧国道22号、西には西尾張中央道がともに南北に貫いており、交通量がたいへん多い。また、校区内にはコンビニエンスストア、レンタルビデオ店、カラオケ店、マンガ喫茶、飲食店など夜遅くまで営業している店が多くあり、夜中も明るい街になっている。学区の大和東小学校、大和西小学校の2小学校から毎年200名前後の生徒が入学してくる。



【学校正門】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

PTAの役員・委員等が、それぞれの立場でさまざまな組織に所属することにより、学校と保護者、保護者と地域、学校と地域の情報交換・情報共有が互いにできるようにし、小中・地域連携を図っていく。

(2) 取組の手だて

小中各校の学校運営協議会において、PTA役員を委員に委嘱するとともに、年3回の大和三校合同学校運営協議会に、本校学校運営協議会会長とともにPTA会長が参加することにより、地域・保護者の両方の視点で議論がなされるようにしている。

また、大和中学校区少年健全育成会は、本校PTA会長が会長となり、小中各校のPTA役員・生徒指導担当、地区協力委員を中心に構成しており、小中学校と地域との連携が図れるようにしている。

各校では、地域の中の学校としてPTAや地域人材を活用しつつ、開かれた学校の一助となるようそれぞれ特色ある活動をしている。大和町を校区とする他の小中学校との連携も図っている。

3 実践活動の概要

(1) 大和三校合同学校運営協議会を通しての連携

(小中各校のPTA会長、校長、教頭、学校運営協議会会長)

① 協議会の内容

6月に、本来は大和中学校において開催する予定であったが、コロナ禍のため、三校に分散してオンラインで結んで開催した。第2回は9月に、大和西小学校で開催した。現在の新型コロナ感染状況、第1回以降の各校の学校行事、現職教育、PTA活動などの報告を行った。第3回は1月に大和東小学校で開催する予定である。



【三校学校運営協議会】

② 小中・地域との連携

新型コロナの感染症対策と状況、学校行事の予定・中止・変更、小中連携などについて、学校、保護者、地域の三者の視点で意見を出し合い、学校運営に生かしている。

GIGAスクール構想における一人1台端末を利用したオンラインで提供できること、コロナ不安により登校できない生徒への対応、いじめに関する対応について情報交換し議論した。また、学校行事における保護者の参観、来賓の招待について、まずは保護者を優先するという意見をいただいた。

(2) 大和中学校区少年健全育成会を通しての連携

(小中各校のPTA役員、校長、生活指導担当、地域の代表)

6月に健全育成会総会をオンラインでつないで開催した。議題としては、学校(児童生徒)の様子、生活指導の重点、生活指導に関する問題(非行、いじめ、不登校、虐待、その他)について報告し合い、議論した。保護司、児童育成協議会、民生児童委員など、地



【健全育成会】

域のさまざまな立場から、小中学校やPTA活動に向けている支援や期待を確認することができる会となっている。本年度は中学校の新制服採用に向けて、小学校のPTAから意見をいただいた。

(3) 小中各校の取り組み

① 大和中学校

ア 登下校交通安全モニター活動・夏休み校区内巡回指導

7月に「登下校交通安全モニター活動」と称して、全家庭に案内を配布し、保護者や地域の方の視点で本校生徒の交通マナーや登下校状態について1週間見ていただき、危険個所を多くの目で見ることにより早期発見・改善できるよう活動している。報告については、これまでの用紙以外に Google フォームへの回答による方法を準備し、案内した。32件の報告があった。報告された内容は、11月の連区交通安全会に提出し、公民館で行われる協議会にPTA会長と校長が出席して、警察署、県建設事務所、市建設部に対して要望事項として説明することで、地域の安全・安心に貢献している。

夏休み校区内巡回指導では、PTA役員、実行委員、学級委員の50名余りの方に協力をしていただいている。意図的に巡回するだけでなく、出かけた際に生徒の様子を意識してもらうために、場所や時間の割り振りをなくした。この報告も延べ33件の報告があった。

イ ボランティア

現旧PTA役員が中心となって「フルール」と称する組織をつくり、花の世話や校門のペンキ塗りなど、潤いのある環境づくりを月1回行っている。また、PTAや地域の方が登録している「スマイル」という組織が、月1回教室で読み聞かせを行ってきた。本年度はコロナ禍のため、教室とオンラインでのハイブリッドによる読み聞かせを行った。



【園芸ボランティア花】



【読み聞かせ】

② 大和東小学校

ア PTA教育講演会

本校卒業生保護者の洞窟探検家吉田勝次さんの講演会を企画した。大和西小と合同で参加者を募り大和公民館で実施した。

イ 学習活動への協力

毎年2年生がサツマイモを5年生が稲を植え、収穫している。児童の祖父母である地域の方に植え方や収穫方法を教えていただいている。子どもたちからは「畑の先生」「田んぼの先生」と呼ばれ、感謝の会を実施している。

ウ 通学路の交通安全活動

毎年、保護者へ通学路を含めた危険個所とその改善方法の意見を集約している。そこで寄せられた危険個所には、地域のお年寄りに登下校時に立ち当番を行っていただいている。

エ 各種ボランティア活動

- ・【ファミリー】旧PTA役員が中心となり、月に1度、校内の環境整備を行っている。これまでに、整理棚の製作、倉庫の整理整頓、アスファルト補修など、安全で快適な環境づくりの活動を行っている。
- ・【掲示】校内の掲示物の作成を行っている。今年度は、卒業式場の飾りを中心に校内掲示の作成と掲示を行った。
- ・【給食】コロナ禍で給食試食会が実施できないため、給食Q&Aや給食の様子などを掲載した給食ボランティアだよりを発行した。
- ・【読み聞かせ】オンラインや撮影した動画での実施だけでなく、感染状況が落ち着いているときには各学級での読み聞かせを行った。
- ・【園芸】本校の花壇の手入れや除草を定期的に行っている。今年度は、中庭と来客用玄関の草花の整備に取り組んだ。

③ 大和西小学校

ア おはよう あいさつ運動

「大和町連区あいさつの日」の日（この日が休日の場合は翌日以降の平日）に、PTA委員を中心に校門に立ち、子どもたちの登校の様子を見守るとともに、子どもたちに挨拶の声をかけている。



【西小挨拶運動】

イ 地域花壇活動

大和西小校区の9つの場所に花壇を作り、地域の保護者と子どもたちで花を育て、地域の人を楽しませている。例年6月と11月の2回苗植えを行っている。



【西小花壇】

ウ 通学路周辺の交通安全に関する要望

毎年7月のはじめに、全校の保護者にプリントを配付し、子どもたちが少しでも安全に登下校ができるよう、危険個所の改善に関する意見を集約している。今年度は14か所についてご意見を伺った。

エ 各種ボランティア活動

運動会（昨年度と今年度は「スポーツデイ」）や、校内の環境整備活動のボランティア活動に参加していただき、力を発揮していただいている。また、昨年度は行うことができなかった「読み聞かせボランティア」も、今年度は緊急事態宣言時を除き行っていただいている。

4 おわりに

PTAの役員・委員が、各校のPTA活動にとどまらず、学校運営を支える諸組織に加わることにより、小中連携、地域連携を強くする場となっている。この体制を生かし、さらに連携を強化していきたい。